

本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日	行事	開催地	案内記事 掲載巻号
2018年			
9月 16日(日)～21日(金)	IWA World Water Congress & Exhibition 2018	東京	本号
26日(水)	第1回はじめての技術セミナー～はじめての次世代シーケンサーを使った活性汚泥の菌叢解析～(2日目)	つくば	41巻7号
10月 15日(月)～19日(金)	第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦 2018)	茨城	41巻3号
20日(土)	2018年度日本水環境学会東北支部セミナー	岩手	本号
30日(火) ～11月1日(木)	第24回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会	福島	本号
11月 2日(金)	平成30年度日本水環境学会関西支部見学会	滋賀	本号
5日(月)	平成30年度日本水環境学会中部支部研究発表会および講演会	石川	本号
5日(月)	東京大学・JICA 連携 留学生プログラム発足記念シンポジウムーアジアの水道の未来と日本の貢献ー	東京	本号
8日(木)～9日(金)	第32回日本吸着学会研究発表会	大阪	41巻8号
9日(金)	第19回上下水道膜セミナー	茨城	本号
13日(火)～14日(水)	膜シンポジウム2018	神戸	本号
14日(水)	第25回規則性多孔体セミナー	鳥取	本号
16日(金)	第5回初歩からの化学工学数学概論演習講座	名古屋	本号
23日(金)～24日(土)	日本腐植物質学会第34回講演会および総会	東京	本号
30日(金)	公開シンポジウム： 「水辺のすこやかさ指標」のさらなる普及へ向けて	東京	本号
12月 5日(水)～7日(金)	第45回炭素材料学会年会	名古屋	本号
2019年			
3月 7日(木)～9日(土)	第53回日本水環境学会年会	山梨	本号
6月 19日(水)～21日(金)	10 th IWA International Symposium on Waste Management Problems in Agro-Industries (AGRO' 2019)	Greece	本号
7月 13日(土)～14日(日)	WET 2019 (Water and Environment Technology Conference 2019)	大阪	
9月 5日(木)～6日(金)	第22回日本水環境学会シンポジウム	札幌	
10月 31日(木) ～11月3日(日)	The 8 th IWA-ASPIRE Conference & Exhibition 2019	香港	

平成 30 年度学生会員の募集について

本会では、ただ今平成 30 年度学生会員を募集しております。入会ご希望の方は下記によりお申し込みください。

申込方法 本会ホームページ (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>) からお申し込みください。

学生会員制度の概要

(1) 会員資格

大学生、大学院生、研究生等で、セミナー・講演会・年会・シンポジウムへの参加を目的とするもの。会員の有効期間は平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日まで。なお、**本年 3 月の時点で学生会員であった方でも、3 月 31 日で会員資格が失効しています。継続希望の方は、再度、入会申し込みが必要です。学生会員の会員番号の最初の 2 桁は会員資格の年度（西暦 2 ケタ）を示します。**

(2) 会費および支払い方法

年間 5,200 円。支払いはお申し込みと同時に行ってください（入金確認後、入会の承認手続きを経た後に正式な会員番号をお知らせします）。

(3) 機関誌

平成 28 年度から、学生会員への学会誌の無償配布は無くなり、希望者に頒布することとなりました。学会誌をご希望の学生会員は、入会時に学会事務局 (member@jswe.or.jp) に希望送付先を連絡の上、学生会員用の学会誌代 3,600 円をご入金ください。ご入金が確認された月以降の学会誌が送付されます（バックナンバーの送付はありません）。**入会時以降の頒布希望の変更は受け付けられません。**入会申込・入金時期によっては、会誌が在庫切れとなることもありますのでご了承ください。

第 53 回日本水環境学会年会への発表・参加申し込みを予定される方へ（入会案内）

2019 年 3 月 7 日（木）～9 日（土）に山梨県甲府市にて第 53 回日本水環境学会年会が開催されます。**年会での発表申し込みはインターネットによる申し込みのみとなっております。**また、発表申し込みの際に会員資格確認があり、**会員資格のない方および入会手続き中の方の発表申し込みは受け付けられません。**（発表申し込み開始は 9 月 12 日（水）予定です。）

年会発表予定者は 2018 年 10 月 31 日（水）までに入会申し込み手続きを済ませ、会員番号を取得してください。（インターネットでの入会申し込み手続き、年度会費の入金確認後、入会が承認されるまで会員番号は発行されませんので、お気をつけください。）

また、**年会参加予定者につきましては、2019 年 2 月 12 日（火）までに同様の入会申し込み手続きをしていただければ会員価格でご参加いただけます。**

入会案内 URL：<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>

なお、発表申し込み締め切りは 11 月 15 日（木）24:00 です。

本会関連行事

第 53 回日本水環境学会年会 研究発表申し込み案内

第 53 回日本水環境学会年会を次の要領で開催いたします。多数の発表申し込みを期待いたします。諸否は年会実行委員会が行いますので、予めご了承ください。

1. 概要

内容 一般研究発表

（口頭発表とポスター発表のセッション）

期 日 2019 年 3 月 7 日（木）～9 日（土）3 日間

会 場 山梨大学甲府キャンパス

400-8510 甲府市武田 4-4-37

交 通 JR 甲府駅から徒歩約 15 分

詳細は <https://www.yamanashi.ac.jp/access-map>

2. 一般研究発表の募集

内 容 別表に示す内容の水環境に関する調査研究成果
応募資格 本会会員に限ります。

登壇資格 登壇者（ポスター発表の代表発表者を含む）は正会員（個人正会員、団体正会員）および学生会員とします。**登壇予定者は 2018 年 10 月 31 日（水）までに、本会ホームページ**

(<https://www.jswe.or.jp/guest/entry.php>)より入会申し込み手続きを済ませてください。会費の入金が確認され、入会が承認されると会員番号が発行されます。仮会員番号のままでは発表申し込みはできません。学生会員は1年ごとの資格ですので、昨年度の会員の方も改めて入会申し込みが必要です。

1名が2つ以上の演題に関して登壇者（ポスター発表の代表発表者含む）となることはできません。

申し込み方法

- 1) 発表申し込み受付は本会のホームページからのみです。ホームページ (<http://www.jswe.or.jp/>) の当該バナーから第53回日本水環境学会年会発表申し込みページにお進みいただき、必要事項を記入の上、送信してください。送信完了後に、受付番号が自動返信されます。パソコンの機種によっては、返信に時間がかかることがあります。1日以上たっても返信のない場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。同じ内容の申し込みを何度も続けて送信されると、システムトラブルの原因となる可能性が大きいのでご注意ください。また、複数のタブまたはウィンドウで発表申し込み画面を開いて操作すると、登録内容が混乱することがあります。発表申し込み画面を複数開かないようにしてください。
- 2) 申し込み期間は**2018年9月12日（水）～11月15日（木）24:00**です。締切日近くにはアクセスが集中し、接続が難しくなる場合があります。早めのお申し込みをお願いします。**期限厳守とし、以降の申し込みは受け付けません。**
- 3) 発表申し込みに必要な会員番号は、個人正会員は「水環境学会誌」を送付する封筒の住所ラベルの下にある6桁の数字、団体会員は同様のSまたはKで始まる4桁の数字、学生会員は18で始まり最後にSのつく5桁の数字です。
発表申し込みの際、必ず登壇者の会員番号を入力してください。他の番号を入力されると受付できないことがありますのでご注意ください。
- 4) 研究発表内容の分類は別表にしたがってください。2017年度から、分類に若干の変更があります。最新の分類にしたがってください。
- 5) 発表形式の希望（口頭発表、ポスター発表、どちらでも可）を選択してください。なお、会場の都合でご希望に添えない場合もあります。一般ポスター発表は、1日目か2日目のどちらかみのポスター掲載（コアタイム）になります。
- 6) 発表申し込み・講演要旨・当日発表は同じ言語にしてください。学会当日、日本語で発表される場合には、発表申し込みを日本語で行い、講演要旨も日本語で作

成してください。英語で発表する場合には、発表申し込みを英語で行い、講演要旨も英語で作成してください。

- 7) 申し込み時の発表題目、発表者名、発表要旨は、受付後の変更はできません。申し込み内容は各自でお控えの上、講演集原稿の題目、発表者名は申し込み時と同じにしてください。講演集原稿の内容が申し込み時と異なる場合には、発表をお断りすることがありますのでご注意ください。共同発表者の記載漏れ、氏名（フリガナ、漢字）の間違いについても十分ご留意のうえ、間違いがあった場合には、発表受付番号と登壇者氏名を明記の上、nenkai@jswe.or.jpに速やかにご連絡ください。

- 8) 登壇者（ポスター発表の代表発表者を含む）の変更は、事前にご連絡の上、共同発表者に限ります。**年会学生ポスター発表賞の発表者については、変更のご連絡が遅れると発表自体をお断りすることがあります。**

発表形式・発表時間

- 1) 口頭発表はすべてMicrosoft PowerPointでの発表となります。詳しくは、ホームページ<http://www.jswe.or.jp/event/lectures/index.html>に掲載の「口頭発表（プロジェクター使用）要領」、「ポスター作成および発表要領」をご覧ください。
- 2) 口頭発表は1演題につき15分（発表10分、質疑応答5分）を予定しています。
- 3) ポスター発表は年会開催期日の指定時間内に掲示いただきます。討議時間も予定しています。一般ポスター発表は、1日目か2日目のどちらかみのポスター掲載（コアタイム）になります。なお、会場の都合上、パソコン等のOA機器を利用したポスター発表は受け付けません。

年会優秀発表賞（クリタ賞）

博士前期課程（修士課程）の大学院生による研究発表のうち、特に優れたものに対し年会優秀発表賞を授与します。1次審査通過者によるポスター発表（2次審査）は年会2日目のみにおこなわれます。2次審査は審査用紙ごとに異なる指定された発表を審査する方式です。応募方法、審査方法等の詳細については、次項を参照してください。

年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）

学部生、高等専門学校生（高専生）、短大生によるポスター発表のうち、特に優れたものに対し年会学生ポスター発表賞を授与します。ポスター発表は年会初日のみにおこなわれます。審査用紙ごとに異なる指定された発表を審査する方式です。応募方法、審査方法等の詳細については、次項を参照してください。

3. 講演集の原稿について

口頭発表およびポスター発表のいずれも講演集の原稿(講演要旨原稿)を作成していただきます。原稿書式はホームページの執筆要領 <http://www.jswe.or.jp/event/lectures/index.html> をご参照ください。

作成方法 原稿枚数はA4判1枚(図表も含む)とします。
提出方法 学会ホームページの会員専用ページよりご提出ください。

個人会員(会員専用ページ):
(<https://www.jswe.or.jp/member/index.php>)

団体会員:
(<https://www.jswe.or.jp/member/Ctl-2-17.php>)

提出期限 2019年1月10日(木)アップロード完了を期限とします。以降は原稿を受け付けません。今年度は年会開催日の関係で提出期限が早くなっています。ご注意ください。

著作権 講演集に掲載された要旨の著作権は、本会に帰属します。

4. 講演集の電子化について

2015年度(第50回)から、日本水環境学会年会の講演集は電子ファイル(ダウンロード方式)版が標準になりました。講演集の公開日(発行日)は年会開催日の1週間前を予定しています。年会会場での印刷サービスはありません。ただし、プログラム等については冊子版を用意しています。なお、追加料金での冊子版講演集のご提供も予定しています。

5. 参加申し込み

年会の参加申し込み案内は、本誌12月号およびホームページに掲載予定です。登壇者も必ずお申し込みください。

6. 研究集会について

年会期間中に行う場合は、会場内に場所を確保いたしますので下記にお問い合わせください。

研究集会についての問い合わせ先

中村高志 山梨大学大学院総合研究部附属国際流域環境研究センター

E-mail: tnakamura@yamanashi.ac.jp

7. 特別講演のご案内

講師 西川広平氏(中央大学文学部人文社会学科日本史学専攻・准教授)

期日 2019年3月8日(金) 15:15~16:15(予定)

会場 山梨大学甲府キャンパス A-2号館2階 A2-21教室

参加費 無料(日本水環境学会年会の参加登録がない場合でも参加可能です。)

8. 懇親会について

懇親会の開催概要は以下の通りです。皆様奮ってご参加ください。

日時 2019年3月8日(金) 18:30~20:00(予定)

会場 ホテル談露館(甲府市丸の内1-19-16)

9. 保育室の設置

宮前保育園(甲府市岩窪町379)との提携により、保育所を無料で利用いただけます。

お問い合わせ・申し込み

E-mail: takuji@jswe.or.jp

10. 見学会のご案内

甲府市周辺のワイン関連施設を巡る見学ツアーを企画しております。是非ご参加ください。

日時 2019年3月8日(金) 午後

お問い合わせ・申し込み

E-mail: excursion@jswe.or.jp

11. 宿泊のご案内

宿泊の斡旋はおこなっておりません。甲府周辺のホテルの数には限りがあります。早めの手配をお願いします。

12. 問い合わせ先

(公社)日本水環境学会第53回年会係

Tel: 03-3632-5351 E-mail: nenkai@jswe.or.jp

「年会優秀発表賞(クリタ賞)」候補者の募集

第53回日本水環境学会年会において、**博士前期課程(修士課程)の大学院生**を対象とした年会優秀発表賞受賞候補者を募集します。多数の方々の応募を歓迎します。

表彰の趣旨 研究意欲の啓発を目指し、**博士前期課程(修士課程)の大学院生**を対象として、優秀な研究成果発表を表彰します。

表彰対象者 年会において口頭発表を行う**博士前期課程(修士課程)**在学の学生会員に限ります。対象者以外の申し込みは発表自体をお断りすることがありますのでご注意ください。

応募方法 本会ホームページから年会研究発表を申し込む時に年会優秀発表賞(クリタ賞)への応募を選択し、所定の事項を記入の上、送信してください。

審査方法

1次審査 講演要旨原稿の内容に基づき審査します。1次審査通過者には、2次審査の詳細を通知します。

2次審査 年会2日目にポスター発表を行い、投票に基づいて受賞者を決定します。

結果通知および表彰等

1) 1次審査結果は発表申し込み時に登録したE-mailアドレス宛にE-mailにより応募者全員に通知します。

2) 2次審査結果(受賞者)は、年会2日目午後に行われる表彰式において発表します。受賞者には、表彰式において表彰状のほか副賞を授与します。受賞者以外で1次審査を通過しポスター発表を行った方には、表彰式において参加賞を授与します。原則として表彰式に出席していない場合は受賞できません(修了式、体調不良、法事等を事前に連絡した場合を除く)。

<http://www.jswe.or.jp/event/lectures/classification.html>

別表 水環境学会年会 研究発表分類表

大分類/ General classification カテゴリー/Category	中分類/ Middle classification フィールド, メソドロジー/ Field, Methodology	分類テーマ, キーワード例 (主たる研究対象や手法に関する分類 テーマ, キーワードの例)	Examples of Keywords
A 水環境 Water environment	1 河川 river	有機物, 栄養塩類, 懸濁物質, 無機イオン, 重金属, 内分泌攪乱物質, 農薬, 微量化学物質, 汚濁負荷, ポイント・ノンポイントソース, 溶存酸素, 界面活性剤, 変異原性物質, アオコ, 富栄養化, 植物プランクトン, 動物プランクトン, 底質, 汽水域, 干潟, 藻類, 赤潮, 貧栄養化など	organic compound, nutrient, suspended solid, inorganic ion, heavy metal, endocrine disruptor, pesticide, agrochemical, micropollutant, pollution loading, point/non-point source, dissolved oxygen, surfactant, mutagen, blue-green algae, water bloom, eutrophication, phytoplankton, zooplankton, sediment, brackish waters, tidal flat, algae, red tide, oligotrophication, etc.
	2 湖沼 lake		
	3 海域・沿岸 sea/coast		
	4 湿原 estuary, wetland		
	5 湧水 spring, sour water		
	6 流域・流域管理 watershed/ watershed management	水資源, 循環利用, 地下水, 排出負荷測定, 排出源推定, 排出負荷削減, 水質保全など	water resource, recycling of water, groundwater, measurement of pollution loading, estimation of pollutant source, reduction of pollution loading, conservation of water quality, etc.
	7 生物・生態系 living thing/ecosystem	二枚貝, 魚類, 水生植物, 海草, 海藻, 生物濃縮, 食物連鎖, 藻場, ベントス, 微生物生態, 生育場など	bivalve, fish, aquatic plant, macroalgae, bioaccumulation, food chain, sea grass bed, benthos, microbial ecology, habitat, etc.
	8 指標 index	総合指標, 理化学的指標, 生物指標, 健康関連微生物, 環境基準など	composite index, physical and chemical index, biological index, health-related microorganisms, environmental quality standards, etc.
	9 モデル model	水質, 生態系, 流出, 浄化予測, 汚濁負荷推定, 水理など	water quality, ecosystem, runoff, prediction of purification, estimation of pollution loading, hydraulics, etc.
	10 自浄作用 self-purification	自然浄化, 浄化機構, 富栄養化, 水理, 水文, 直接浄化など	natural attenuation, remediation mechanism, eutrofication, hydraulics, hydrology, direct purification, etc.
	11 気候変動 climate change	地球温暖化, 局地的豪雨, 浸水/災害対策, 渇水, 調査研究など	global warming, local heavy rain, flood/disaster countermeasure, drought, survey research, etc.
	12 生態系サービス ecosystem services	生態系サービス, 生態系機能, 自然資本, グリーンインフラなど	ecosystem services, ecosystem function, natural capital, green infrastructure, etc.
	13 その他 others		
B 土壌・地下水 Soil/Groundwater	1 土壌・地下水汚染 soil and groundwater contamination	土壌, 地下水, 硝酸, 揮発性有機化合物, 重金属, ヒ素, 水理, モデル, バイオレメディエーション, 微生物, 活性炭処理など	soil, groundwater, nitrate, volatile organic compounds heavy metal, arsenic, hydraulics, model, bioremediation, microbes, activated carbon treatment, etc.
	2 浄化技術 remediation technology		
	3 その他 others		
C 上水・用水・再生水 Drinking water/ Utilize water	1 水源管理 water source management	水源, 有機物, 重金属, 微量化学物質, 農薬, 濁度, 臭気物質, 凝集沈殿, ろ過, 吸着, オゾン, 紫外線, 膜, 消毒, 健康関連微生物, 消毒副生成物, 給配水, 再増殖, 気候変動, リスク評価, リスク管理, 水質事故など	water source, organic matter, heavy metal, micropollutant, pesticide, agrochemical, turbidity, odorous compound, coagulating sedimentation, filtration, adsorption, ozone, UV, membrane, disinfection, health-related microorganisms, disinfection byproduct, water distribution, regrowth, climate change, risk assessment, risk management, accidental water pollution, etc.
	2 浄水処理・管理 water treatment/management		
	3 水質評価 water quality evaluation		
	4 再生水 reclaimed water		
	5 浄水場排水・スラッジ処理 waterworks wastewater/sludge treatment		
	6 その他 others		
D 排水処理 処理方式 Wastewater treatment - treatment process	1 活性汚泥法 activated sludge process	標準活性汚泥法, オキシデーションデイチ法, 膜分離活性汚泥法, 生物ろ過法, 生物活性炭, 固定化担体, グラニユール法, UASB法, メタン発酵, 嫌気性消化, 凝集沈殿, ろ過, 吸着, 浮上分離, 膜, オゾン, 塩素, 紫外線, 電解処理, 促進酸化処理, 消毒副生成物, 健康関連微生物,	conventional activated sludge process, oxidation ditch process, membrane bio-reactor (MBR), biofiltration process, biological activated carbon, immobilized carrier, granular sludge, UASB, methane fermentation, anaerobic digestion, coagulation sedimentation, filtration, adsorption, air flotation, membrane separation, ozone, chlorine, UV, electrolytic treatment, advanced oxidation processes,
	2 生物膜法等 biofilm process		
	3 嫌気性処理 anaerobic treatment		

D	排水処理 処理方式 Wastewater treatment - treatment process	4 物理処理 physical treatment	生物学的窒素処理（硝化、脱窒、ア ナモックス等）、直接浄化、人工湿地 など	disinfection byproduct, health-related microorganisms, biological nitrogen removal (nitrification, denitrification, ANAMMOX, etc), direct purification, constructed wetland, etc.
		5 化学処理 chemical treatment		
		6 消毒 disinfection		
		7 生物学的窒素処理 biological nitrogen removal		
		8 人工湿地 constructed wetland		
		9 その他 others		
E	排水処理 除去・回収対象物質 Wastewater treatment - materials for removal/recovery	1 微量化学物質／難分解性有機物 trace chemicals/ persistent organic compound	内分泌攪乱物質、医薬品、難分解性 有機物、その他微量化学物質、生物 学的窒素除去、生物学的リン除去、 晶析法、ストリッピング法、重金属、 希少金属など	endocrine disruptor, pharmaceutical and personal care products (PPCPs), trace chemicals, biological nitrogen removal, biological phosphorus removal, crystallization method, stripping, heavy metal, rare metal, etc.
		2 窒素・リン nitrogen/phosphorus		
		3 金属類 metals		
		4 塩分除去 desalting		
		5 高濃度有機物 highly-concentrated organics		
		6 その他 others		
F	排水処理 排水の種類 Wastewater treatment - wastewater type	1 下水／生活雑排水／し尿 sewage/domestic wastewater/ night soil	下水道、浄化槽、農集排、コミュニ ティプラント、コンポストトイレ、 鉄鋼業、電子産業、食品産業、醸造 業、畜産業など	sewage, Johkasou, rural community sewerage, community wastewater treatment plant, composting toilet, steel industry wastewater, electronic industry wastewater, food industrial wastewater, brewing industry wastewater, agricultural wastewater, etc.
		2 工場排水 industrial wastewater		
		3 食品産業排水 food industrial wastewater/ agricultural wastewater		
		4 その他 others		
G	排水処理 除去機構解析 Wastewater treatment - analysis of treatment mechanism	1 生物処理モデル biological treatment model	活性汚泥モデル、嫌気性モデル、ろ 過モデル、堆積モデル、ポピュレー ションダイナミクス、PCR法、FISH 法など	activated sludge model, anaerobic reaction model, filtration model, sedimentation model, population dynamics, polymerase chain reaction (PCR), fluorescence in situ hybridization (FISH), etc.
		2 物理化学的処理モデル physical-chemical treatment model		
		3 遺伝子解析 genetic analysis		
		4 その他 others		
H	排水処理 排水回収 低炭素対応 その他 Wastewater treatment - wastewater recovery, Low carbon, other	1 排水回収 wastewater recovery,	排水回収、再生利用、造水処理など	wastewater recovery, water reclamation, zero liquid discharge, etc.
		2 省エネ・創エネ energy conservation/ energy production		
		3 地球温暖化 global warming		
		4 微細藻類 microalgae		
		5 その他 others		
I	汚泥・廃棄物処理、 バイオマス Sludge/ Waste treatment	1 汚泥処理 sludge treatment	嫌気性消化、メタン発酵、下水汚泥、 資源化処理、減容化処理、コンポ スト、浸出水、畜産廃棄物、評価指標、 バイオマスエネルギーなど	anaerobic digestion, methane fermentation, sewage sludge, recycling, volume reduction, composting, leachate, livestock waste, evaluation index, biomass energy, etc.
		2 廃棄物処理 waste treatment		
		3 バイオマスエネルギー変換、 バイオマス資源化 biomass energy conversion, biomass resource recovery		

		4 その他 others		
J	毒性・健康影響 Toxicity/ Health effects	1 毒性評価 toxicity assessment 2 生物影響 biological effects 3 健康関連微生物 health-related microorganisms 4 その他 others	下水、河川、地下水、湖沼、海域、浸出水、健康関連微生物、細胞毒性、変異原性、水生生物、生物濃縮、生態系影響、リスク評価、指標生物、DNA マイクロアレイ、内分泌攪乱作用など	sewage, river, groundwater, lake, sea, leachate, health-related microorganisms, cytotoxicity, mutagenicity, aquatic organism, bioaccumulation, ecosystem impact, risk assessment, index organism, DNA microarray, endocrine-disrupting effect, etc.
K	試験・分析法 Test/Analysis	1 化学分析 chemical analysis 2 生物学的分析 biological analysis 3 バイオアッセイ bioassay 4 その他 others	機器分析、GC/MS法、LC/MS法、簡易分析、センサー、内分泌攪乱物質、金属元素、微量有機化学物質、健康関連微生物、PCR法、ハイブリダイゼーション法、バイオセンサー、培養細胞、水生生物など	instrumental analysis, gas chromatography/mass spectroscopy analysis, liquid chromatography/mass spectroscopy analysis, simple analysis method, sensor, endocrine disrupting chemicals, nonmetal element, organic micropollutant, health-related microorganisms, polymerase chain reaction, hybridization, biosensor, cultured cell, aquatic organism, etc.
L	総合評価・管理 Comprehensive evaluation/Management	1 技術/システム評価 technology/system evaluation 2 生態リスク評価/管理 ecological risk assessment/ management 3 環境動態 environmental fate 4 維持管理 maintenance 5 財政評価 monetary evaluation 6 その他 others	省資源・省エネルギー、コスト、LCA、二酸化炭素発生対策、気候変動、温暖化防止、リスク管理、アセットマネジメントなど	natural resources saving, energy conservation, cost evaluation, LCA, CO ₂ emission countermeasure, climate change, prevention of global warming, risk management, asset management, etc.
M	環境教育・国際協力 Environmental education/ International cooperation	1 環境教育 environmental education 2 国際協力・海外調査 international cooperation/ overseas research 3 その他 others	環境保全活動、環境学習、地域参加、環境計画、地球環境、文化交流、技術普及など	environment conservation activity, environmental learning, community involvement, environment plan, global environment, cultural exchange, technology propagation, etc.
N	水環境文化 Water environment culture	1 景観、都市設計 landscape/urban planning 2 地域、暮らし、歴史、伝統 region/life/history/tradition 3 その他 others	景観、都市設計、デザイン、暮らしと水、親水、行政、ホタル、文化交流など	landscape, urban planning, design, life and water, water park, government administration, firefly, cultural exchange, etc.
O	震災・復興 Impact of Earthquake or Tsunami/Restoration	1 放射性物質 radioactive substance 2 震災 impact of earthquake 3 その他 others	放射性物質、挙動、除去、分析など 被害、復旧、自然再生など	radioactive substance, behavior, removal, analysis, etc damage, restoration, regeneration of nature, etc
P	特別企画 Special Project	1 開催支部企画 project by the host branch 2 その他 others		
Q	A～P以外 Others	1 その他 others		

注：2017年度に中分類の変更があります。選択時にはご留意ください。
複数の希望セッションに希望順位をつけて選択してください。

- 3) 1次審査を通過しポスター発表を行った方全員を懇親会へ招待します。

スケジュール概要 (締切以降は受け付けません)

- 1) 2018年11月15日 応募締め切り
- 2) 2019年1月10日 講演要旨原稿提出締め切り
- 3) 2019年2月上旬 1次審査結果の通知
- 4) 年会 2日目 ポスター発表による2次審査
- 5) 年会 表彰式 2次審査結果の発表、受賞者の表彰と副賞の授与、参加賞の授与

付記 年会優秀発表賞(クリタ賞)受賞の博士前期課程(修士課程)修了者は、国際会議発表助成(クリタ賞国際会議発表助成、毎年5月に募集予定)の助成候補対象となります。

問い合わせ先

(公社)日本水環境学会
年会優秀発表賞(クリタ賞)係
Tel: 03-3632-5351 E-mail: nenkai@jswe.or.jp

「年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)」 候補者の募集

第53回日本水環境学会年会において、**学部生、高等専門学校生(高専生)、短大生**を対象とした年会学生ポスター発表賞の受賞候補者を募集します。多数の方々の応募を歓迎します。

表彰の趣旨 研究意欲の啓発を目指し、**学部生、高専生、短大生**を対象として優秀なポスター発表を表彰します。

表彰対象者 年会においてポスター発表を行う**大学学部、高等専門学校、短期大学**在学の学生会員に限ります。対象者以外の申し込みは発表自体をお断りすることがありますのでご注意ください。

応募方法 本会ホームページから年会研究発表を申し込み時に年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)への応募を選択し、所定の事項を記入の上、送信してください。

審査方法 年会初日にポスター発表を行い、投票に基づいて受賞者を決定します。

結果通知および表彰等

- 1) 審査結果(受賞者)は、年会2日目昼に受付に掲示して発表します。受賞者には、表彰式において表彰状のほか副賞を授与します。原則として表彰式に出席していない場合は受賞できません(卒業式、体調不良、法事等を事前に連絡した場合を除く)。
- 2) 受賞者を懇親会へ招待します。

スケジュール概要 (締切以降は受け付けません)

- 1) 2018年11月15日 応募締め切り
- 2) 2019年1月10日 講演要旨原稿提出締め切り
- 3) 年会 初日 ポスター発表による審査
- 4) 年会 2日目 審査結果の発表
- 5) 年会 表彰式 受賞者の表彰と副賞の授与

問い合わせ先

(公社)日本水環境学会
年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)係
Tel: 03-3632-5351 E-mail: nenkai@jswe.or.jp

海外在住外国人会員の年会発表に対する 費用助成制度「国際招聘賞」 JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award 第53回日本水環境学会年会の 助成対象者の募集

本会では、水環境分野の国際交流・国際協力の促進を目的として、本会年会で研究発表を行う海外に在住する外国籍の個人会員・国際連携会員に対して、来日費用等の助成を行っています。

2019年3月に山梨大学(山梨県甲府市)で開催される第53回年会での研究発表予定者から、助成の対象者を下記のとおり募集します。奮ってご応募ください。

この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐(ご寄付)により実施するものです。

〈募集の手引き〉

応募資格 海外に在住する外国籍の個人会員および国際連携会員 (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html> 参照)で、第53回日本水環境学会年会において研究発表を予定する者
入会希望者は2018年10月末日以前に日本水環境学会への入会手続きを行うこと

助成内容 年会・懇親会への招待、および年会参加のための渡航費・滞在費の一部助成(一律10万円を予定)

助成対象 若干名

応募方法 年会の研究発表申し込み手続(2018年11月15日(木)締切)を行った後に、下記の提出書類を学会事務局まで提出すること

提出書類 1. 応募者の略歴、発表題目、受付番号、要旨(所定書式あり、下記URL参照)
2. 主な発表論文の別刷り3編(PDF可)

所定書式 下記のいずれかからダウンロード
<http://www.jswe.or.jp/awards/idea/index.html>

<http://www.jswe.or.jp/eng/awards/idea/index.html>

提出期限 2018年11月16日(金)必着

提出先 (公社)日本水環境学会 水環境国際招聘賞選考委員会

郵送の場合：〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7
グリーンプラザ深川常盤 201 号

E-mail の場合：kokusai@jswe.or.jp (@は半角)

合否通知 選考結果については、2018年12月末日までに応募者に通知する。

2018年度日本水環境学会東北支部セミナー 【岩手の水環境を守るための 取組・研究と最近の話題】

主催 日本水環境学会東北支部
後援 岩手大学
期日 2018年10月20日(土)
場所 岩手大学復興祈念銀河ホール(理工学部内)
交通 盛岡駅からバス・タクシーで約10分。
詳しくは岩手大学のHPをご覧ください。
<https://www.iwate-u.ac.jp/access.html>

プログラム

13:30 開会の挨拶
13:35 「人為による河川環境の変化－盛岡市中津川の事例から－」
辻 盛生氏(岩手県立大学総合政策学部)
14:00 「岩手県の水環境の現状について(仮)」
吉田幸司氏(岩手県環境生活部環境保全課)
14:25 「化学物質の生態リスク評価」
寺崎正紀氏(岩手大学人文社会科学部)
14:50 <休憩>
15:05 「北上川五ダムの水質に関する話題(仮)」
重茂和志氏(国交省北上川ダム統合管理事務所)
15:30 「盛岡市水道事業における災害対策(仮)」
立花祥一氏(盛岡市上下水道局)
15:55 「浄化槽における温室効果ガスの排出状況について(仮)」
稲村成昭氏(岩手県浄化槽検査センター)
16:20 「岩手・青森県境産業廃棄物不法投棄現場における1,4-ジオキサン浄化対策(仮)」
吉田敬幸氏(岩手県環境生活部廃棄物特別対策室)
16:45 閉会の挨拶

参加費 無料

備考 支部セミナー後に、情報交換会を予定しております(参加費別途)。

詳細URL <http://jswetohoku.web.fc2.com/>
(日本水環境学会東北支部HP)

申込方法

参加者の氏名、所属、連絡先(電話番号、E-mailアドレス)、情報交換会参加の有無をご記入のうえ、10月12日(金)までに下記までメールでお申し込みください。

問い合わせ・申し込み先

日本水環境学会東北支部セミナー事務局
岩淵勝己(岩手県環境保健研究センター)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡 1-11-16

Tel: 019-656-5670 Fax: 019-656-5671

E-mail: kt-iwabuchi@prefiwate.jp

平成30年度日本水環境学会関西支部 見学会のご案内

今回の関西支部見学会は、滋賀県を舞台に、草津市のメタン発酵実証実験装置と近江八幡市沖島の浄化センターを訪問します。メタン発酵実証実験装置は琵琶湖で問題となっている水草と地場農業で発生する野菜残渣等を原料に、メタン発酵によって液肥を生成し、地域内での活用可能性を検証しているものです。また沖島浄化センターは日本で唯一淡水湖に浮かぶ有人島である沖島で、40年近く下水処理を担っている施設で、回分式オキシデーションディッチ方式に加えて遠隔監視システムを備えている施設です。さらに、自然との共生をテーマにした和洋菓子パーク「ラ コリーナ近江八幡」への立ち寄りも盛り込み、多彩な内容となっております。多数の皆さんのご参加をお待ちしています。

主催 日本水環境学会関西支部
期日 2018年11月2日(金) 9:15~17:00(予定)
場所 ①メタン発酵実証実験装置(滋賀県草津市)
②沖島浄化センター(滋賀県近江八幡市)

集合場所 9:15にJR琵琶湖線・草津駅前ロータリー
内容 JR草津駅(集合)→メタン発酵実証実験装置(見学)→沖島(昼食)→沖島浄化センター(見学)→ラ コリーナ近江八幡→JR近江八幡駅(解散)以下詳細URLをご参照ください。

申し込み方法 ①氏名、②会員(会員番号)・非会員の別、③連絡先(所属団体名、住所、電話番号、E-mailアドレス)を記入しE-mailにてお申し込みください。

参加申込締切 2018年10月19日(金)

参加費 会員:3,000円、非会員:4,000円

詳細URL <https://www.jswe.or.jp/aboutus/subdivision/kansai/pdf/kansaikengaku201811.pdf>

申し込み・問い合わせ先

株式会社日吉 技術部 分析研究課 川崎悦子
Tel: 0748-32-5001
E-mail: e.kawasaki@hiyoshi-es.co.jp

平成30年度日本水環境学会中部支部研究発表会 および講演会

日本水環境学会中部支部では支部会員および関連団体の技術研鑽と情報交換を目的に平成30年度日本水環境学会中部支部研究発表会および講演会を下記の通り開催します。とくに大学学部生、大学院生、若手の社会人研究者の方々のご発表を歓迎します。また、日頃より地域の水環境問題に取り組まれている市民団体やNPO、高校生のみなさんも、会員の推薦があれば発表機会を提供します。

研究意欲の増進を目指し、優秀なポスター発表に対して表彰を行います。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

主催 日本水環境学会中部支部

期日 2018年11月5日(月)12:00~16:20

場所 労済会館(石川県金沢市西念1-12-22)

プログラム

12:00~ 研究発表会

14:30~ 講演会「国立環境研究所30年間、なんとかなりました!」

国立環境研究所 琵琶湖分室長 今井章雄氏

16:00~ 研究発表会表彰式

申し込み方法 申込書等はメールで以下へご請求ください。

参加申込締切 発表申込:9月3日(月)~10月5日(金)

参加申込:9月3日(月)~10月19日(金)

参加費 無料(ただし、事前申込みが必要です。)

問い合わせ先

日本水環境学会中部支部事務局

(石川県保健環境センター)

〒920-1154 石川県金沢市太陽が丘1-11

Tel:076-229-2011 Fax:076-229-1688

E-mail:hokan-08@pref.ishikawa.lg.jp

公開シンポジウム:

「水辺のすこやかさ指標」のさらなる普及へ向けて

環境省は身近な水環境の総合的な指標として2009年「水辺のすこやかさ指標」(以後、本指標)を公表し、その後本指標は水環境への関心を深める環境学習の一環としてまた地域に根差した市民活動のツールとして広く利用されてきました。シンポジウムでは本指標のこれまでの10年間の取り組みを振り返りながら、今後のさらなる普及へ向け皆さんと議論を深めたいと思います。

主催 日本水環境学会東北支部水辺のすこやかさ指標研究会・関東支部

日時 2018年11月30日(金)13:00~17:00

場所 日本大学理工学部1号館 2階121会議室
(東京都千代田区神田駿河台1-8-14)

プログラム

開会挨拶 13:00~13:10

東京大学大学院・日本水環境学会前会長 古米弘明

■《基調講演》13:10~13:30

・13:10~13:30 『水辺のすこやかさ指標に係る環境省の取組』(仮題)

環境省水・大気環境局水環境課 中山裕貴

■《第1部》13:30~15:00 これまでの取り組みの紹介

「行政」 八王子市水再生課 三宅智之

「市民団体」 富山県「環の会」 中島晴美

「市民団体」 横須賀「水と環境」研究会 高橋弘二

「小学校」 北九州ウォーターサービス 原口公子

「大学」 信州大学工学部 松本明人

「大学」 日本大学理工学部 小沼 晋

■《第2部》15:10~16:10 さらなる普及へ向けて

『東北支部における水環境健全性指標のための情報共有プラットフォームの取り組み』(仮題)

青森大学・青森県 角田 均・三上 一

『水環境健全性指標を活用するための「水辺へGO!」の開発』(仮題)

(株)日水コン 下平由美子・清水康生

『自治体へのアンケート調査結果について』

日本水環境学会関東支部 風間真理

■《第3部》16:10~16:50 ~総合討論~

司会:東洋大学・日本水環境学会関東支部長

大塚佳臣

■閉会挨拶 16:50~16:55

東北工業大学・日本水環境学会東北支部 矢野篤男

参加 どなたでも参加は自由です。

参加費 無料

懇親会 会場:日本大学理工学部・カフェテラス

会費:3,000円

問い合わせ先 東北工業大学環境エネルギー学科

矢野篤男 yano-t@tohtech.ac.jp

Tel:022-305-3961

詳細 URL 日本水環境学会東北支部 HP

(<http://jswetohoku.web.fc2.com/>) または

関東支部 HP (<http://www.jswe-kanto.com/>)

第24回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会

本研究集会は地下水・土壌汚染の実態・原因・経路の調査から、汚染物質の移動機構の解明、汚染による影響やリスクの評価、汚染の防止対策・修復技術・修復評価、地質等に起因する自然由来の汚染や放射性物質による汚染に関する国内最大規模の研究発表会として、地下水・土壌汚染問題の様々な課題について研究成果や事例発表、意見交換、技術交流、情報収集、人材育成や学習の場としての機能を果たして参りました。毎年、150件を超える研究発表等や特別講演、企業展示などが行われ、大勢の方々のご参加をいただいております。

このたび第24回の研究集会を下記のとおり開催することとなりました。今回は稼働を開始した中間貯蔵施設等(予定)の現地見学会を企画しておりますので、多くの皆様にご参加を頂きますようご案内申し上げます。

主催 日本水環境学会、廃棄物資源循環学会、地盤工学会、日本地下水学会、土壌環境センター

期日 2018年10月30日(火)~11月1日(木)

場所 とうほう・みんなの文化センター

(〒960-8116 福島県福島市春日町5-54)

内 容 (予定)

10月30日(火), 10月31日(水)

口頭発表とポスター発表とを組み合わせた研究発表,
特別講演, 企業展示他

10月30日(火) 懇親会

11月1日(木) 現地見学会

※内容は変更になることもありますので土壌環境センターのHPで確認ください。

参加申し込み方法

土壌環境センターのホームページ上で必要事項を入力してお申し込みください。(http://www.gepc.or.jp/)

事前参加申込締切 2018年9月21日(金)**参加費** 一般: 9,000円(11,000円),

学生: 3,000円(4,000円)

懇親会会費: 6,000円(7,000円)(予定)

※括弧内は当日受付の場合

詳細 URL http://gepc.or.jp/kenkyu/24th/**問い合わせ先**第24回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する
研究集会事務局 担当: 木下 (kinoshita@gepc.or.jp)
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 KSビル3階
(一社) 土壌環境センター内
Tel: 03-5215-5955 Fax: 03-5215-5954**IWA 関連行事****The IWA World Water Congress & Exhibition
IWA 世界水会議 (IWA2018 TOKYO)****主 催** IWA (International Water Association)**期 日** 2018年9月16日(日)~21日(金)**場 所** 東京ビッグサイト(東京)**日 程 (予定)**

- ・開会式, ウェルカムレセプション(9月16日)
- ・講演, 展示会, ビジネスフォーラム(9月17日~20日)
- ・閉会式, ガラ・イブニング(9月20日)
- ・テクニカルツアー(9月21日)

参加費 (ユーロ)

支払日	一般		学生
	IWA会員	非会員	
登壇者(7月1日以前)	895	1095	445
6月30日以前	995	1195	495
9月9日以前	1095	1295	545
9月10以降, 現地	1245	1445	645

詳細 URL http://worldwatercongress.org/**Japan-YWP workshop
「Post SDGs Future Vision Call」****主 催** Japan-YWP**期 日** 2018年9月17日(月) 10:30~12:00**場 所** 東京ビッグサイト Room 02**プログラム**

IWA 世界水会議の場でSDGs達成後(Post SDGs)の目標について協議するとともに, SDGs達成のために開発すべき技術・社会システムについて参加者と議論する予定です。発表の言語は英語となります。

ワークショップは以下のプログラムで実施予定です。

10:30-10:35 開会挨拶

10:35-11:15 SDGsに関する取組(数名による発表)

11:15-11:55 Workshop (Post SDGs)

11:55-12:00 閉会挨拶

※ワークショップ終了後, 19:00より各国若手との懇親会を会場周辺で予定しています。懇親会はIWA世界水会議の出席者以外も参加可能です。ぜひお気軽にご参加ください。詳細は決まり次第, Japan-YWPウェブサイト・Facebookでご案内いたします。

参加申し込み方法 IWA世界水会議への参加登録が必要となります。**参加申込締切** なし(当日, 会場へお越しください)**参加費** 無料**詳細 URL** http://www.japan-ywp.site/event/event.html**問い合わせ先**

Japan-YWP 代表 浅田安廣(国立保健医療科学院)

〒351-0197 埼玉県和光市南2丁目3-6

Tel: 048-458-6111 Fax: 048-469-1573

E-mail: asada.y.aa@niph.go.jp

**(国際水協会ーアジア太平洋地域グループ)
2019 地域会議(香港)での研究発表に対する
渡航費用助成対象者の募集**

本学会では, 京都会議記念基金をもとに, 2019年10月31日~11月3日に香港で開催される The 8th IWA - ASPIRE Conference Exhibition 2019での研究発表予定者に対して渡航費用などを助成します。今回は, 発表申込締切前に助成対象(候補者)を決定しますので, 渡航費用などを確保してから発表申し込みが可能なスケジュールになっています。地方の試験研究機関の会員や若手研究者など, これまで海外での学会への参加が難しかった方々に, 是非ともご応募いただき, 優秀な研究成果を数多く発表していただきたいと考えています。助成対象となった方には, 会議参加後に参加報告書(学会誌に掲載されます)を提出していただきます。

〈募集の手引き〉**応募資格** 本会の正会員で, IWA-ASPIRE 会議で研究

発表（口頭発表，ポスター発表）投稿を予定する者

助成内容 会議参加のための渡航費および滞在費

助成対象者 若干名

応募方法 助成を希望する本人が，次項の書類を提出すること

提出書類（書式は自由）

①応募者の氏名，所属，住所，Tel，Fax，E-mail，本学会の年会，シンポジウム，WET，研究委員会，支部等での活動内容

②本助成を必要とする理由

③発表予定の研究内容が判る資料（日本語可）

④本渡航費用助成への過去における応募状況

提出期限 2019年1月4日（火）

採否通知 選考結果については，2019年1月末日までに応募者に通知する。発表申込等の手続きは，本人が行うこと。ただし，発表申請が審査の結果受理されなかった場合には，助成の資格を失う。

提出先 〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7
グリーンプラザ深川常盤201号
（公社）日本水環境学会 派遣・招聘委員会

10th IWA International Symposium on Waste Management Problems in Agro-Industries (AGRO' 2019)

主催 The International Water Association

期日 2019年6月19日（水）～21日（金）

場所 Rhodos Palace Hotel, Rhodes Island, Greece

主要テーマ

①廃水・廃棄物の生物学的／化学的処理，②栄養塩除去および回収，③資源回収および再利用，④高度処理プロセスおよび革新的技術の適用，⑤モデリングと設計の協働，⑥汚泥安定化・利用・処分，⑦畜産廃棄物の処理と利用，⑧農地からの汚濁流出とその制御，⑨農業地域の水・廃棄物の革新的管理システム，⑩農業関連産業における気候変動の緩和・適応策，⑪土壌浄化・管理

アブストラクト受付 2018年10月15日（月）

～2019年1月15日（火）

アブストラクト審査結果通知 2019年3月1日（金）

早期割引参加登録期限 2019年3月15日（金）

詳細URL <http://agro2019.itu.edu.tr/>

問い合わせ先

E-mail : agro2019@itu.edu.tr

他学会関連行事

東京大学・JICA 連携 留学生プログラム発足記念シンポジウム －アジアの水道の未来と日本の貢献－

主催 東京大学大学院工学研究科・（独）国際協力機構

期日 2018年11月5日（月）

場所 東京大学本郷キャンパス武田ホール

プログラム

1) 基調講演

ODAによる留学生事業とJICA 開発大学院連携構想
JICA 理事 加藤 宏氏
途上国の人材育成や日本とアジアの関係構築において
大学が果たす役割 東京大学 教授 滝沢 智氏

2) アジアの水道の発展に向けて

- ・留学生と海外からのメッセージ
- ・パネルディスカッション：（株）クボタ，厚生労働省水道課，首都大学東京，横浜市水道局

申し込み方法 詳細 URL をご参照ください。

参加申込締切 定員になり次第

参加費 無料

詳細URL <https://goo.gl/forms/QxpK4V8NXBYBsVjZ2>

問い合わせ先

国際協力機構 地球環境部

東京都千代田区二番町5-25

Tel : 03-5226-6658 Fax : 03-5226-6343

E-mail : jicage-water2@jica.go.jp

第19回上下水道膜セミナー

主催 膜分離技術振興協会

協賛 水道技術研究センター他

期日 2018年11月9日（金）

場所 茨城県霞ヶ浦環境科学センター

（土浦市沖宿町1853 Tel : 029-828-0960）

プログラム

浄水膜の種類と開発の歴史／水道用浄水膜の制度AMST規格について／膜処理技術の研究開発と普及促進に向けた取組／膜浄水のプロセス設計／国内外における水道用浄水膜の実用例／「省エネ型膜ろ過浄水施設導入手引き（事例集）」の紹介／下排水処理関連の膜技術の動向について／霞ヶ浦環境科学センター見学

申し込み方法 下記宛にFaxまたはE-mailでお申込みください。確認後，参加証・請求書などをお送りします。

参加申込締切 2018年10月22日（月）

参加費 会員12,000円，非会員14,000円，国・地方自治体6,000円，学生4,000円（昼食代含む）

詳細URL <http://www.amst.gr.jp/>

問い合わせ先

一般社団法人膜分離技術振興協会
〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3-12-11
東日本橋 TS ビル
Fax : 03-6712-0192 E-mail : info@amst.gr.jp

膜シンポジウム 2018

主催 日本膜学会
協賛 日本水環境学会ほか
期日 2018年11月13日(火)～14日(水)
場所 神戸大学百年記念館
〒685-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

プログラム

本年度の主題は“人が交(混)じる、膜は分ける”とし、人工膜・生体膜・境界領域、さらには膜に関連した幅広い科学・技術に携わる研究者が一堂に会して活発な議論を行い、膜の科学と技術の更なる発展のための議論の場にしたいと考えています。それ以外は以下詳細 URL をご参照ください。

申し込み方法

下記 E-mail にて日本膜学会事務局まで。

参加申込締切 2018年10月12日(金)
参加費 協賛学会員 8,000円(当日 9,000円)、非会員 11,000円(当日 12,000円)、学生 3,000円

詳細 URL <http://maku-jp.org/>

問い合わせ先 日本膜学会
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-26-5-702
E-mail : membrane@mua.biglobe.ne.jp

第 25 回規則性多孔体セミナー

主催 触媒学会規則性多孔体研究会
協賛 日本イオン交換学会, 日本ゼオライト学会, 石油学会, 日本化学会他
期日 2018年11月14日(水)
場所 鳥取大学工学部(鳥取市湖山町南 4-101)

プログラム

“2050年の未来社会創成に対するゼオライトの科学と技術の可能性” 松方正彦氏(早稲田大)
“合理的なゼオライト合成” 伊奥木健太氏(東京大)
“優環境型の着色無機顔料” 増井敏行氏(鳥取大)
“ゼオライトの環境・福島汚染水処理分野への応用 -ゼオライトの技術開発と使用例-”
松倉 実氏(ユニオン昭和)

申し込み方法 下記 URL から
参加申込締切 10月15日(月)
参加費 無料(懇親会は有料, 料金未定)
詳細 URL <http://www.katalab.org/25porous/>

問い合わせ先

鳥取大学大学院工学研究科 片田直伸
〒680-8552 鳥取市湖山町南 4-101
Tel・Fax : 0857-31-5684
E-mail : katada@tottori-u.ac.jp

第 5 回初歩からの化学工学数学概論演習講座

主催 化学工学会東海支部
協賛 日本水環境学会ほか
期日 11月16日(金) 13:30～17:00
場所 イオンコンパス名古屋駅前会議室
(会議室 C+D)

プログラム

1. 数量化の基礎, 2. 多変量解析法入門, 3. データマイニングによる未来予測の基礎。実験データやプロセスデータの整理・解析・推測のテクニックを習得することを目的とした講座。内容の詳細は、ホームページをご覧ください。

申し込み方法 化学工学会東海支部ホームページ
(<http://scej-tokai.org/>) からお申込みください。

参加申込締切 定員 30名
参加費 詳細はホームページをご覧ください。
*協賛団体会員も本会会員価格に準じます。

問い合わせ先 (公社)化学工学会東海支部
名古屋市中区大須 1-35-18 (公財)中部科学技術センター内
Tel : 052-231-3070 Fax : 052-204-1469
URL : <http://scej-tokai.org/>

日本腐植物質学会**第 34 回講演会および総会のお知らせ**

主催 日本腐植物質学会
期日 2018年11月23日(金)～24日(土)
場所 東京農業大学 世田谷キャンパス
プログラム

一般講演(口頭およびポスター), テーマ講演(11月23日午後), 総会, 懇親会(11月23日夕刻)
テーマ講演:「これまでの農業生産における腐植物質研究とこれからの課題」, 詳細は下記 URL をご参照ください。

申し込み方法 講演題目, 発表者, 所属, 連絡先, 懇親会への参加の有無を明記の上, 下記へ E-mail, ハガキにてお申し込みください。発表は口頭発表かポスター発表か希望をお書きください。

参加申込締切 一般講演申込締切: 10月1日(月)
講演要旨提出および参加事前登録締切: 10月30日(火)
参加費 会員 2,500円, 非会員 5,000円(要旨集代を含む)
詳細 URL <http://www.research.kobe-u.ac.jp/ans-soil/jhss/index.html>

問い合わせ先

日本腐植物質学会第34回講演会実行委員会
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1 東京農業大学
応用生物科学部農芸化学科内 加藤 拓
Tel : 03-5477-2310 E-mail : tk205721@nodai.ac.jp

第45回炭素材料学会年会

主催 炭素材料学会
協賛 エネルギー・資源学会
期日 2018年12月5日(水)～7日(金)
場所 国立大学法人 名古屋工業大学
(〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町)

プログラム

今年の特別セッションのテーマは「ナノカーボン科学とクラシックカーボン科学の対話」です。共催、協賛学会会員であれば、炭素材料学会の会員以外でも講演することができます。英語での発表はすべてインターナショナルセッションになります。本セッションは招待講演と一般講演で構成されます。発表および要旨の言語が英語となります。上記セッションへの多数のご参加をお願いいたします。

参加申し込み方法 HPより参加申込システムにて登録

参加申込締切 2018年11月8日(木)

参加費 HPをご確認ください

詳細URL <http://www.tanso.org/contents/event/conf2018/>

問い合わせ先 炭素材料学会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5

E-mail : tanso-desk@bunken.co.jp

お知らせ

平成30年度「水環境文化賞」の推薦募集について

水環境文化賞は水環境の保全・創造に関する社会文化活動が顕著である団体あるいは個人に贈られます。自薦、他薦は問いません。詳細は以下、学会事務局にお問い合わせください。受賞者は2019年3月の日本水環境学会第53回年会(山梨大学:甲府市)表彰式(3月8日)にて表彰状および副賞が授与されます。たくさんのご応募をお待ちしています。

被推薦資格 水環境の保全・創造に関する社会文化活動に積極的に取り組んでいる団体あるいは個人。本会の会員/非会員は問いません。

応募方法 学会ホームページより応募用紙をダウンロードし、以下1)～6)の必要事項を記入の上、7)活動を示す資料と併せて以下の提出先に送付ください。以下のE-mailへの電子ファイルでの提出をお願いします。電子ファイルとすることが困難な場合はご相談ください。なお、評価ポイントは学会ホームページでご覧になれます。

1) 被推薦団体名或いは被推薦者氏名, 連絡先住所,

Tel 番号, E-mail アドレス

2) 活動概要 (300字以内)

3) 対象とする社会文化活動

4) 広報活動など (200字以内)

5) 推薦者の推薦理由 (500字程度)

6) 推薦者の氏名, 所属, 住所, Tel 番号, E-mail アドレス (自薦も可)

7) 活動を示す資料 (20枚(電子ファイル40項)以内)

応募書類の作成に当たっては、当学会の支部にご相談いただけます。支部の連絡先は、以下、学会事務局にお問い合わせください。

提出期限 2018年10月4日(木)(必着)

提出・問い合わせ先(学会事務局)

(公社)日本水環境学会「水環境文化賞」係

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7

グリーンプラザ深川常盤201号

Tel : 03-3632-5351 Fax : 03-3632-5352

E-mail : info@jswe.or.jp

平成30年度「水環境文化賞児童・生徒の部(みじん子賞)」の推薦募集について

水環境文化賞児童・生徒の部(みじん子賞)は地域の水環境保全・創出に貢献した小・中・高校生のグループに贈られます。本年度は年会開催地である関東地区(栃木県, 群馬県, 新潟県, 茨城県, 埼玉県, 東京都, 千葉県, 神奈川県, 長野県, 山梨県)から選考されます。自薦, 他薦は問いません。詳細は以下、学会事務局にお問い合わせください。受賞者は2019年3月の日本水環境学会第53回年会(山梨大学:甲府市)表彰式(3月8日)にて表彰状および副賞が授与されます。たくさんのご応募をお待ちしています。

被推薦資格 地域の水環境保全・創出に努力している小学生, 中学生もしくは高校生のグループ等。本会の会員/非会員は問いません。

応募方法 学会ホームページより応募用紙をダウンロードし、以下1)～6)の必要事項を記入の上、7)活動を示す資料と併せて以下の提出先に送付ください。以下のE-mailへの電子ファイルでの提出をお願いします。電子ファイルとすることが困難な場合はご相談ください。なお、評価ポイントは学会ホームページでご覧になれます。

1) 被推薦団体名或いは被推薦者氏名, 連絡先住所, Tel 番号, E-mail アドレス

2) 活動概要 (300字以内)

3) 対象とする社会文化活動

4) 広報活動など (200字以内)

5) 推薦者の推薦理由 (500字程度)

6) 推薦者の氏名, 所属, 住所, Tel 番号, E-mail アドレス (自薦も可)

7) 活動を示す資料 (20枚(電子ファイル40項)以内)

応募書類の作成に当たっては、当学会の支部にご相談いただけます。支部の連絡先は、以下、学会事務局にお問い合わせください。

提出期限 2018年10月4日(木)(必着)

提出・問い合わせ先(学会事務局)

(公社)日本水環境学会「水環境文化賞」係

〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201号

Tel: 03-3632-5351 Fax: 03-3632-5352

E-mail: info@jswe.or.jp

平成30年度「名誉会員」の推薦について

名誉会員は、水環境関連分野の学術の発展に功績があった、あるいは本会に対しとくに功労があった満70歳以上の会員を、総会の承認を得て推戴します。本会名誉会員推薦内規により、会員は名誉会員候補者を推薦できることになっております。

なお、海外在住の外国人会員も名誉会員の対象となっております。詳細につきましては、学会事務局にお問い合わせください。

平成30年度「学会賞」、「学術賞」の受賞候補者の推薦について(募集)

これらの賞の選考については、それぞれの選考委員会に対し、会員による推薦制度を設けております。下記のとおり会員各位からのご推薦を期待しています。なお、学術賞に関しては、年齢制限はありません。詳細につきましては、学会事務局までお問い合わせください。

〈学会賞〉

本会の発展に貢献あるいは水環境に関わる分野において、とくに優れた功績を認められた会員に贈られます。

1. 被推薦資格: 本会の会員にして、受賞年度(平成30年度)において満60歳をこえる者
2. 提出書類: ①被推薦者の氏名、住所、所属、略歴等、②推薦理由書(2,000字以内)、③参考資料等、④推薦者の氏名、住所、所属

〈学術賞〉

水環境に関わる一連の論文、著作、学術的研究成果がとくに優れた会員に贈られます。

1. 被推薦資格: 本会の会員であること。年齢制限はありません。
2. 提出書類: ①被推薦者の氏名、住所、所属、略歴等、②対象とする研究成果、③推薦理由書(2,000字以内)、④参考資料等(論文、著作の一覧等)、⑤推薦者の氏名、住所、所属

※それぞれの賞についての提出書類の書式は自由です。
なお、参考資料の論文、著作の一覧は査読つき論文、

学会プロシーディングス、解説、著作などを明確に整理し、推薦理由書等の資料は電子媒体での提出をお願いします。

提出期限 2018年11月30日(金)

(今年度より選考日程が変わりました)

提出先

〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201号

(公社)日本水環境学会「学会賞」、「学術賞」係

E-mail: info@jswe.or.jp

平成30年度「技術賞」および「技術奨励賞」候補者の推薦について(募集)

本会では、水環境に関する調査研究または水環境技術に関して顕著な功績をなした個人または団体に技術賞を、また、水環境に関する調査研究または水環境技術が独創的であり将来を期待される個人または団体に技術奨励賞を設け表彰しております。なお、技術賞および技術奨励賞受賞者(または団体)は、6月に開催される日本水環境学会総会会場にて表彰され、本学会誌に受賞者(または団体)とその技術の受賞理由等についての記事が掲載され広く会員に周知されます。

つきましては、下記の要領にて、会員からの技術賞および技術奨励賞候補者の推薦をお願い申し上げます。「推薦」は自薦他薦を問いません。なお、参考までに過去5年間の技術賞受賞テーマ一覧および過去3年間の技術奨励賞受賞テーマを掲載いたします。

被推薦者の資格

本会正会員または団体正会員およびこれに所属する個人
提出書類

「技術賞・技術奨励賞提出書類様式」を学会HPよりダウンロードしてお使いください。また、各書類はpdfファイル形式で提出先メールアドレスへお送りください。

- (1) 応募区分(技術賞または技術奨励賞を選択)
- (2) 被推薦者の氏名、住所、所属(団体の場合は名称および代表者名)、電話番号、略歴等(連名の場合、被推薦者の役割分担を明記)
- (3) 対象とする技術または調査研究(40字以内)
- (4) 推薦者の推薦理由(①技術内容(調査内容)、②開発背景、③従来技術および優位性、④技術賞は実績を記載し技術奨励賞では実用化への取組み、または調査研究に関しては期待される社会貢献について記載:2,000字以内)
- (5) 推薦者(氏名、住所、所属等)
- (6) 参考資料等(文献、特許、新聞記事等)

提出期間 2018年9月18日(火)~11月22日(木)

(今年度より選考日程が変わりました)

提出先 (公社)日本水環境学会「技術賞および技術奨励賞」係 E-mail: togawa@jswe.or.jp

[参考] 過去5年間の技術賞受賞テーマ

平成29年：該当なし

平成28年：浮上る材を用いた合流改善高速ろ過技術

平成27年：グラニューールを利用した高速窒素排水処理システム

オキシデーションディッチ法における二点DO制御システム

平成26年：包括固定化技術を用いたアナモックス反応による窒素処理技術

平成25年：メタン発酵法を用いたコーヒー粕・茶粕・汚泥のバイオガス化技術

技術奨励賞受賞テーマ

平成29年：湖沼・河川および発生源における難分解性有機物の標準的分析手法の確立

高効率1,4-ジオキサン分解菌N23株を用いた連続回分処理技術

平成28年：下水処理施設由来の多元的環境負荷の統合評価手法

洗剤工場における製造工程排水リサイクルシステムの開発

平成27年：鉄バクテリア法を用いた地下水中の鉄・砒酸・亜砒酸の同時除去技術

水質モニタリングデータの活用による流域全体の変遷を捉えた水環境を見える化する手法

平成26年：浄水セラミック膜ろ過システムを用いた藻類障害対策技術の開発

海淡・下水再利用統合システムの開発

「水環境国際活動賞（いであ活動賞）」の募集

本会では、水環境分野での国際交流・国際協力の促進を目的として、本会の活動趣旨に沿っており、かつ優れた国際的な活動として選定されたものを「水環境国際活動賞（いであ活動賞）」として顕彰し、その費用の一部または全額を助成致します。助成の対象者を下記のとおり募集致します。奮ってご応募願います。

なお、この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐（ご寄付）により実施するものです。

〈募集の手引き〉

応募資格 本会の個人正会員

助成内容 本会の活動趣旨に沿った優秀な国際的な活動に対して助成を行う。活動例としては、1) 海外での調査・研究活動、2) 海外または国内での、海外の話題を対象としたシンポジウムや出版等の研究情報の普及・交流活動、3) 海外または国内での、国際的なシンポジウム等の研究集会の開催等。

助成金額 30万円（上限）

助成期間 2019年4月1日～2020年3月31日
（活動期間が2020年度にわたっても可）

助成対象件数 1件

応募方法 助成を希望する本人が、以下の提出書類を作成し、期限までに郵送（簡易書留）又はE-mail（kubota@jswe.or.jp）で提出してください。応募受付の連絡が3日以内でない場合は学会事務局にご連絡願います。

提出書類（書式は自由）

- 応募者の氏名、会員番号、連絡先住所、TEL、FAX、E-mail、所属、略歴、研究業績（主な発表論文リストや国際的な活動実績）（A4、1ページ程度）
- 活動の内容を示す計画書（目的、計画、期待される成果を含めA4、2ページ程度）
- 必要経費の概算書（活動全体にかかる経費（自己資金を含む）と本会からの助成希望金額を明記してください）

提出期限 2019年1月15日（火）必着

提出先 〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7

グリーンプラザ深川常盤201号

（公社）日本水環境学会水環境国際賞選考委員会

（簡易書留で封筒表に「水環境国際活動賞」と朱書きしてください）

E-mail（kubota@jswe.or.jp）での提出も可（件名に「水環境国際活動賞」と記載してください）

合否通知 選考結果については、2019年2月までに応募者に通知致します。

その他 受賞者には活動に関する報告書を作成し、学会へ提出していただきます。

第13回日本水環境学会関西支部 関西水環境賞、奨励賞、社会・文化賞 推薦のお願い

日本水環境学会関西支部では、下記の賞を設け、水環境に関する優れた成果や貢献、活動等を表彰します。適切な候補者・団体等をご推薦ください。

関西水環境賞

水環境研究、水環境技術の開発、あるいは水環境の保全・創造に係る実務に関して、優れた成果や顕著な貢献をなしたと認められる支部個人正会員、または団体正会員およびこれに所属する個人に授与。

1. 応募方法・資格：自薦または他薦、年齢等制限なし。
2. 応募書類：以下の書類を提出ください。

a. 推薦書：関西支部ホームページ

（<http://www.jswe-kansai.com/>）より所定の推薦書様式をダウンロードし、水環境に関する研究（様式A）、水環境技術の開発（様式B）、水環境の創造保全に関する実務（様式C）の中から該当する業績を1種類選択し、必要事項を記載。A4用紙2ページで提出。

b. 関連資料：論文、総説、ノート、報告、発表要旨、雑誌、書籍、特許、カタログ等

3. 提出方法：推薦書と関連資料は原則PDF化し、元のXLSファイルと共にCDに書き込むと同時に各1部印刷し、PDF化し難い資料等1部とともに郵送。
4. 締め切り：2018年9月21日（金）（必着）
5. 提出先：大阪工業大学工学部環境工学科
駒井幸雄（教授；選考委員長）
〒535-8585 大阪市旭区大宮5丁目16-1
E-mail：yukio.komai@oit.ac.jp

奨励賞

水環境研究、水環境技術の開発、あるいは水環境の保全・創造に係る実務に関して、独創的・特徴的な成果や貢献を有し、将来を期待される当該年度4月1日の時点で40歳未満の支部個人正会員、または団体正会員に所属する個人に授与。

1. 応募方法・資格：原則他薦、2018年4月1日時点で40歳未満。
2. 応募書類・提出方法・締め切り・提出先：関西水環境賞と同じ。
3. 受付後、被推薦者には別途調書を提出していただきます。

社会・文化賞

関西地域で水環境の保全・創造に関する社会・文化活動が顕著な団体または個人に授与。

1. 応募方法・資格：自薦または他薦、年齢等制限なし。当学会の会員・非会員を問わない。
2. 応募書類：以下の書類を提出ください。
 - a. 推薦書：関西水環境賞と同じ。ただしA4用紙1ページで提出。
 - b. 関連資料：対象の社会・文化活動がわかる資料等
3. 提出方法：関西水環境賞と同じ。
4. 締め切り：2018年9月21日（金）（必着）
5. 提出先：株式会社 日吉
川崎 悦子（選考委員長）

〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町 908

E-mail：e.kawasaki@hiyoshi-es.co.jp

受賞講演と水環境文化賞への推薦について

各受賞者には関西支部総会（本年12月上旬～中旬を予定）において受賞講演をお願いいたします。また、社会・文化賞に推薦された団体は、当学会の水環境文化賞に支部から推薦させていただく場合があります。

北海道大学大学院工学研究院 環境循環システム部門、「助教の公募」

- 募集人員** 助教 1名
所属 地圏循環工学分野地圏物質移動学研究室
専門分野 地圏環境の保全・修復あるいはそれにかかわる物質移動に関する研究分野
応募資格 着任時に博士の学位またはPhDを有する方
 詳細は下記URLをご参照ください。
採用予定日 2019年4月1日（月）
応募方法 封筒表面に「環境循環システム部門教員公募30-13」と朱記し、書留で郵送してください。
応募期限 2018年11月2日（金）必着
詳細URL <https://www.eng.hokudai.ac.jp/graduate/research/recruit/>

問い合わせ先

北海道大学大学院 工学研究院環境循環システム部門
 部門長 川崎 了
 〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目
 E-mail：kawasaki@geo-er.eng.hokudai.ac.jp

「水環境学会誌・水質汚濁研究 DVD-ROM 版」販売のご案内

水環境学会誌およびその前身の水質汚濁研究の Vol.1～30 の PDF 版を一枚の DVD に納めたものを販売いたします。原著論文だけでなく、企画記事や会告、表紙等、冊子体のすべてのページ（広告を除く）が電子化されております。タイトルおよび著者についてのキーワード検索機能、特集企画タイトルの一覧表が使用できます。これを機に、書棚のバックナンバーを整理しつつ、これまでの日本水環境学会の 30 年の歴史とその知の集積を振り返ってみてはいかがでしょうか。

価 格 表

定 価 1 枚	15,428 円	税込（本体価格 14,286 円）
会員価格（正会員，外国会員，学生会員）1 枚	10,285 円	税込（本体価格 9,524 円）
会員価格（団体会員）3 枚組セット	27,772 円	税込（本体価格 25,715 円）
会員価格（団体会員）5 枚組セット	41,143 円	税込（本体価格 38,096 円）

購入申込方法

1. 購入申込書

購入申込書は、下記のいずれかの方法で入手してください。

- 1) 本会ホームページ (<http://www.jswe.or.jp/publications/data/index.html>) よりダウンロードしてください。
- 2) 本会事務局に請求して、FAX か郵送で入手してください。

2. 購入申込方法

購入申込書に記入の上、FAX か郵送でお申し込みください。

3. 送付方法

レターパックプラス（510 円）でお送りいたします。

4. 支払い方法

DVD-ROM 版に請求書・見積書・納品書を同封し、購入申込書にご記入いただいた支払方法（銀行振込または郵便振替）の口座をお知らせいたします。いずれも振込料金は御負担ください。

5. 問い合わせ先

公益社団法人日本水環境学会事務局：Tel：03-3632-5351 Fax：03-3632-5352